

堀川河畔に生まれた名古屋の近代医学の歩み

「衛生のみち」 歴史ウォーキング&講演会2019

EISEI no MICHI Walking 2019

納屋橋「シャムスガーデン」から
スタートします

2019年3月23日(土)

9:00~スタート



新築された愛知病院での外科手術習
画：柴田芳清

左端の老人姿で描かれているのが、ウィーン大学出身のアルブレヒト・フォン・ローゼツ。実際の年齢は若いですが、当時は敬意を表して老人姿として描かれた。中央の白いシャツ姿で執刀しているのが校長の後藤新平、そして腕を押さえている袴姿が司馬凌海。三人の立役者が生き生きと描かれている。当時の外科手術室での様子が絵になったのは珍しい。

※愛知医学校・愛知病院跡近くの堀川河畔に設置されています。原形からご覧いただけます。

A.V.ローゼツ* (1846~1884)



オーストリア人のお雇い教師。明治9年(1876年)、愛知病院での診療と愛知医学校での教育のため、通訳の司馬凌海を伴って招聘された。近代医学の基礎づくりに貢献するほか、衛生警察の養成と精神病院の建設を提唱した。

後藤新平* (1857~1929)



19歳で名古屋に赴任。明治14年(1881年)院長兼校長となった。衛生警察などをカリキュラムに取り入れ、ローゼツの提言を実現した。さらに病気の予防、つまり衛生へと彼の関心は進んだ。

司馬凌海* (1840~1879)



司馬遼太郎の小説「胡蝶の夢」の主人公、伊之助のモデル。愛知県津島村の子宮外妊産で亡くなった女性の特志献体により、日本人で初めて病理解剖を行った。また、彼は語学の天才で、蘭、英、独、仏、漢、露、ギリシャ、ラテン語に通じていた。

「衛生のみち」歴史ウォーク&講演会2019

2019年3月23日(土)

雨天決行・参加無料

ガイドによる歴史ウォーキング

集合：納屋橋東北角・シャムスガーデン

※地下鉄伏見駅徒歩約10分

時間：9時~12時(3班に分けて実施)

※屋形船乗船(約30分)

※歴史ウォーキング(約1時間)

午
前
の
部

講演会「後藤新平と愛知・名古屋」

会場：西本願寺別院

※地下鉄大須駅南へ徒歩約10分

時間：14時~15時

講師：山崎育子

高野長英と後藤新平ゆかりの旧水沢市生まれ。ご自身の体験を通して生まれ故郷の水沢と名古屋との共通点を独自の視点で語る。後藤新平にとって第二のふるさと、名古屋とは？

午
後
の
部

●主 催：特定非常利活動法人 市民まちづくり風の会

〒454-0043 名古屋市市中川区尾張橋三丁目18番5号 TEL & FAX 052-700-1689

●後 援：名古屋大学医学部/名古屋市



① 納屋横棧橋から屋形船に乗り込み、稲川ミニクルーズの出発です。

② ローレツ、後藤新平、司馬凌海が描かれた西洋手術図の陶板を船上から眺めます。

③ 道路側から見た西洋手術図の解説板です。トエネック近くにあります。



④ 後藤新平住居跡に今は何もなく、後藤新平史料館の構想で盛り上がります。



⑤ 司馬凌海が私塾を開いていた大須の大光院(明王殿)にある凌海の記念碑。



⑥ 医学講習所が置かれた西本願寺。ここで日本最初の移植手術(円内)が行われました。
※円内画像は名古屋大学附属図書館医学部分館所蔵

お申込書 **FAX 専用** FAX 052-700-1689

お申し込み方法

参加ご希望の部にチェックしてください

◆はがき・郵便、もしくはFAXにて、住所、氏名、電話番号、性別、年齢を記入の上、下記までお申込み下さい。先着60名様に参加証をお送りします。
 ●出発時間など詳細は郵便にてご連絡さしあげます。

- 衛生のみち歴史ウォーキング
 講演会「後藤新平と愛知・名古屋」

フリガナ	年齢	お電話
		メール

〒

※ご注意：両方の部に参加ご希望の方は、両方の参加欄にチェック願います。 **メ切り：2019年3月16日(土) 24時まで**

主催：特定非営利活動法人 **市民まちづくり風の会**
 〒454-0043 名古屋市中川区尾頭橋三丁目18番5号
 TEL & FAX 052-700-1689
 E-mail: kazeno-kai@qc.commufa.jp

後援：名古屋大学医学部
 名古屋市

